



一般医療機器

機械器具(58) 整形用機械器具

脊椎手術用器械

JMDN コード : 70963001

FULLENDO KLIF 器械セット

【形状、構造及び原理等】

1. 形状・構造

- (1) ディストラクター 6-8mm
ディストラクター 8-8mm
ディストラクター 8-10mm
ディストラクター 10-12mm



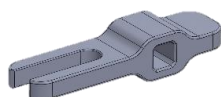
- (2) ディストラクター 6-8mm 1/4 スクエア
ディストラクター 8-8mm 1/4 スクエア
ディストラクター 8-10mm 1/4 スクエア
**ディストラクター 10-10mm 1/4 スクエア
ディストラクター 10-12mm 1/4 スクエア
**ディストラクター 7-10mm 1/4 スクエア
**ディストラクター 9-12mm 1/4 スクエア



- (3) ハンドル



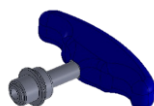
ハンドル 1/4 スクエア



- T-ハンドル



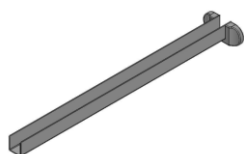
T-ハンドル 1/4 スクエア



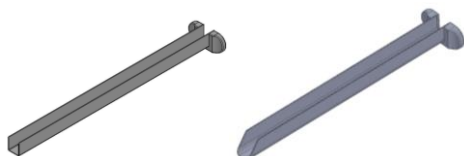
- (4) ハンマー



- (5) オープン角カニューラ 8-8mm用
オープン角カニューラ 8-10mm用
オープン角カニューラ 10-10mm用



- (6) オープン角カニューラ 8-8mm用 ショート
オープン角カニューラ 8-10mm用 ショート
オープン角カニューラ 10-10mm用 ショート
オープン角カニューラ 8-12mm用 ショート
オープン角カニューラ 10-12mm用 ショート



- (7) シェーバー 8mm
シェーバー 9mm
シェーバー 10mm
シェーバー 11mm
シェーバー 12mm



- (8) シェーバー 8mm 1/4 スクエア
シェーバー 9mm 1/4 スクエア
シェーバー 10mm 1/4 スクエア
シェーバー 11mm 1/4 スクエア
シェーバー 12mm 1/4 スクエア

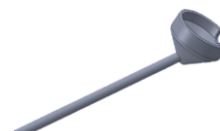


- (9) リングキュレット 7mm
リングキュレット 9mm
リングキュレット 7mm アングル
リングキュレット 9mm アングル

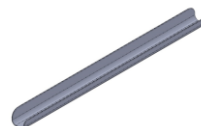


- (10) ボーンタンプ φ6mm用
ボーンタンプ φ8mm用

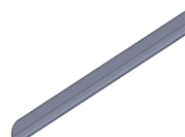
- (11) ボーンファンネル φ6mm
ボーンファンネル φ8mm



- *(12) レスキュー角カニューラ 8-8mm用 U型
レスキュー角カニューラ 8-10mm用 U型



- *(13) レスキュー角カニューラ L型



- ** (14) レスキュー角カニューラ 8-8mm J 型 左用
レスキュー角カニューラ 8-8mm J 型 右用
レスキュー角カニューラ 8-10mm J 型 左用
レスキュー角カニューラ 8-10mm J 型 右用



- ** (15) レスキュー角カニューラ C 型 ハンドル付



- ** (16) スターターパドル 6-8mm 1/4 スクエア



2. 原材料

ステンレス鋼、アルミニウム合金、シリコーンゴム

【使用目的又は効果】

本品は、脊椎固定手術等の脊椎手術のために用いる手術器械である。手動式のものに限る。本品は再使用可能である。

【使用方法等】

1. 準備

本品は未滅菌製品であるので、使用に際しては下記の条件を参考に、又は各医療機関により検証された滅菌条件により滅菌を行ってから使用すること。

標準的滅菌方法：高圧蒸気滅菌法（プレバキューム）

標準的滅菌条件：

温度	時間
121-124℃	15 分
132-135℃	10 分

2. 使用方法

(1) ディストラクター

椎体間拡大の補助のために使用する。

(2) ハンドル

ディストラクターを 90° 回転させるためのハンドル。

(3) ハンマー

椎体間に手術器械を挿入する際に、槌打するために使用する。

(4) オープン角カニューラ

椎間板への経皮的経路を確保するために使用する。

** (5) レスキュー角カニューラ

カンビントライアングルが狭くて、角カニューラが入らない場合、レスキュー角カニューラ U 型を挿入後、L 型で神経根を押し広げる又はレスキュー角カニューラ J 型を挿入後、C 型で神経根を押し広げて、椎間板への経皮的経路を確保するために使用する。

(6) シューバー

椎体終板に平行に挿入し、回転させることで椎体板腔を開大し、軟骨性終板を削るために使用する。

(7) キュレット

椎間板の組織片や軟骨終板等を除去するために使用する。

(8) ボーンタンブ

椎間板腔に移植骨を充填するために使用する。

(9) ボーンファンネル

椎間板腔に移植骨を充填するために使用する。

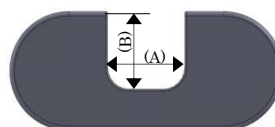
** (10) スターターパドル

椎体間が狭い場合、ディストラクターを挿入前に、椎体間拡大の補助のために使用する。

3. 使用方法に関する使用上の注意

- (1) 使用するシステムの添付文書及び手術手技書を参照し、手術手技に完全に精通すること。
- (2) 使用前に手術に必要な機器類が揃っているか確認すること。
- (3) 本品は、術中フリーラン EMG などの神経モニタリング下で行うこと。
- (4) 本品にてケージを使用する際には、下記の角カニューラの内寸に収まる適切なサイズを選択すること。

製品名	A(幅)	B(高さ)
オープン角カニューラ 8-8mm 用 オープン角カニューラ 8-8mm 用 ショート **レスキュー角カニューラ 8-8mm J 型 左用 **レスキュー角カニューラ 8-8mm J 型 右用	8mm	8mm
オープン角カニューラ 8-10mm 用 オープン角カニューラ 8-10mm 用 ショート **レスキュー角カニューラ 8-10mm J 型 左用 **レスキュー角カニューラ 8-10mm J 型 右用	8mm	10mm
オープン角カニューラ 10-10mm 用 オープン角カニューラ 10-10mm 用 ショート	10mm	10mm
オープン角カニューラ 8-12mm 用 ショート	8mm	12mm
オープン角カニューラ 10-12mm 用 ショート	10mm	12mm



オープン角カニューラ内寸図

- (5) 本品にてケージを使用する際、体外にてケージが角カニューラのスライド部で正しくスライドすること、ケージインサーターにて角カニューラ先端部から十分にケージが出ていることを確認すること。
- (6) 角カニューラより短いケージインサーターを使用しないこと。
- (7) ジャッキアップケージを使用する際は角カニューラ内で拡大させると角カニューラが変形または破損する可能性があるため、X 線下にて角カニューラからケージの全てが椎間に移行したことを確認した後に拡大させること。
- (8) 本品は未滅菌のため、使用前に洗浄及び滅菌を行うこと。洗浄は中性洗剤を用いて柔らかいスポンジ等を使用すること。その後、脱イオン水ですすぐこと。滅菌は、【使用方法等】の 1. 準備に示す方法に従って行うこと。
- (9) 使用前、使用中、使用後において本品の正常性を確認すること。また、【保守・点検に係る事項】の 2. 点検等に従い、本品に異常がないことを確認すること。異常が認められる場合は、直ちに使用を中止すること。
- (10) 本品の取扱いには十分注意すること。固いものと接触する際は、本品が破損したり、傷ついたりしないよう注意すること。
- (11) 中空状の器具の洗浄では、棒状のクリーナーで内部の組織・残屑を除去してから洗浄すること。
- ** (12) オープン角カニューラが使用できない症例においては、手術手技書に従ってレスキュー角カニューラ U 型と L 型又はレスキュー角カニューラ J 型と C 型を組み合わせ使用すること。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 本品をクロイツフェルト・ヤコブ病 (CJD) 患者、又はその疑いのある患者に使用した場合は、クロイツフェルト・ヤコブ病 (CJD) に関する国内規制及びガイドライン等を遵守すること。
- (2) 本品は、本書に記載の使用目的以外では使用しないこと。
- (3) 本品がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施

すること。推奨される洗浄方法（ガイドライン第7章参照）として、ウォッシャーディスインフェクターによる高温アルカリ洗浄（90～93℃）を実施後にプレバキューム高圧蒸気滅菌（134℃、8～10 分間）する。この場合、アルミニウム対応のアルカリ洗浄剤を用いること。アルカリ洗浄剤を用いない場合、滅菌条件の例として、プレバキューム高圧蒸気滅菌、134℃、18 分間とする。

- (4) 本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその感染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。返却前に、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。

2. 相互作用

〔併用禁忌・禁止〕

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
弊社が認めていない他社製品	正常な機能が得られない恐れがある	操作上の整合性が確認されていない

3. 不具合・有害事象

不具合事象

- ・腐食や孔食による折損・破損・摩耗・変形
- ・先端部の形状変化による切削不良
- ・組織、靱帯、腱、神経、血管、腸、尿管、肺、骨等の損傷
- ・機能不良

有害事象

- ・折損や破損片の体内遺残
- ・不適切な洗浄・滅菌による感染
- ・アレルギー反応
- ・患者又は手術者の負傷
- ・麻痺
- ・手術外傷または本品による神経、血管、内臓、尿管、肺、骨または組織の損傷

【保管方法及び有効期間等】

高温、多湿、直射日光を避け、水等の液体の影響を受けない清潔な場所に保管すること。

【保守・点検に係る事項】

1. 洗浄、消毒、滅菌

- (1) 汚れが乾燥し落ちにくくなるのを防ぐため、付着した血液・体液・組織・薬品等は直ちに洗浄し、消毒すること。
- (2) 洗剤は、洗浄方法に適したものを選択し、その適正濃度にて使用すること。
- (3) 強アルカリ性／強酸性の洗剤・消毒剤は器具を腐食させる恐れがあるので使用を避けること。
- (4) 超音波洗浄装置・ウォッシャーディスインフェクター等の洗浄装置で洗浄する場合、汚れが落ちやすい状態でバスケット等に収納して処理すること。
- (5) 金属タワシ、クレンザー（磨き粉）等は、器具表面コーティングを損傷するので使用しないこと。
- (6) 仕上りすぎには、精製水・脱イオン水・濾過水等の使用を推奨する。
- (7) 洗浄後は、腐食防止のために直ちに乾燥させること。

2. 点検等

- (1) 滅菌前、使用前に汚れ・破損がないか等を確認すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】



【製造販売業者】

株式会社サージカル・スパイン
東京都新宿区市谷田町 2-19-1 NBC ビル

【連絡先】

電話番号：03-6265-0901（代表）

- (2) 汚れや異常が見られた場合には使用せず適切な処置を行うこと。
- (3) 修理に関しては、弊社又は弊社の許可を得ている修理業者以外は行わないこと。